



きっずるーむだより

第 62 号

令和 8 年 1 月 9 日発行
社会福祉法人ゆうゆう
きっずるーむ県庁別館



新春のお慶びを申し上げます。

新しい一年がこどもたち、保護者の皆様にとって
笑顔があふれる年になりますよう、お祈り申し上げます。

きっずるーむでは子どもたちの元気な姿とともに、2026 年がスタートしました。
今年度も残りわずかですが、一日一日を元気に過ごして行きたいと思います。



お せ ち 料 理



お正月といえば「おせち」ですね。
お正月の間は神様を迎えるので、「料理の物音などでお正月を騒がしくしないため」といわれているようです。冷蔵庫もない時代に、日持ちさせる料理を思いつく昔の人はすごいですね。地方によっておせち料理の内容は変わりますが、代表的な料理とその意味を一部ご紹介します。

「エビ」は丸まった姿から、《腰が曲がるくらいまで長生きするように》という願いが込められています。

「数の子」はニシンの卵で一度にたくさんの卵を生むことから、《子沢山や子孫繁栄》を願います。

昔の人は食材からこんなことを考えるなんて想像力豊かですね。



肌 の 乾 燥

寒い季節は、空気が乾燥して肌も乾燥してしまいます。

こどもの肌は大人に比べると皮脂の分泌が少なく、敏感なので余計に肌荒れやあかぎれ、痒みが起こりやすいのです。こどもは、かゆみを感じると、かいてはいけないのに、我慢できずにかいてしまうことがあります。それを繰り返すとその刺激で新たなかゆみが発生し、さらに悪化してしまうこともあります。

肌に優しい素材の服や、ご家庭で手洗いや入浴後はクリームやオイルなどでスキンケアがオススメです。また爪がのびていると、かいてしまったときに皮膚を余計に傷つけてしまいます。爪は常に短くしておきましょう。

きっずるーむのご利用時は、薬の利用ができませんが、日中強く痒がっている様子があった場合は、お迎えの際にお伝えしていきます。



こどもの様子



太陽の日差しが暖かい日は

舞鶴城公園や歴史公園に散歩に行っています。

芝生の所で伸び伸びと、それぞれの好きな遊びを楽しんでいます。

A ちゃん（3 歳児 3 ヶ月）は、縄跳びに興味を持ち始め
蛇の様によろよろしてみたり、広い所で縄跳びを持って走ったりと
色々な遊び方を自分で考え遊んでいます。

3 歳児は跳ねたり回したり体を動かして楽しみ、遊びの中で縄跳びに親しみ始める時期です。

最初は保育者が遊びを広げる様に出しましたが、

今では A ちゃんを筆頭に、縄跳びを自分で出してみんなで楽しんでいます。

これからも、寒い日が多い時期なので縄跳びを使って体を温めながら遊びを楽しんでいきます。

